

3. 地域子育て支援拠点

子育てに関わる方々のための身近な拠点施設として実施している事業の中で、共通した内容のものについて紹介します。

多摩市 利用者支援事業・地域子育て支援拠点事業 概略

「利用者支援事業」「地域子育て支援拠点事業」は、『子ども・子育て支援法』等（『子ども・子育て関連3法』）に基づく「子ども・子育て支援新制度」を根拠とする事業です。

多摩市では、「地域子育て支援拠点」に位置づけられた10施設（連携館を含む）で実施しています。

子ども・子育て支援法 第59条

「市町村は、内閣府令で定めるところにより、（中略）地域子ども・子育て支援事業として、次に掲げる事業を行うものとする」

※第1号から第13号で右記の事業を規定

地域子ども・子育て支援事業【13事業】

(1)利用者支援事業

- (2)延長保育事業
- (3)実費徴収に係る補足給付を行う事業
- (4)多様な事業者の参入促進・能力活用事業
- (5)放課後児童健全育成事業
- (6)子育て短期支援事業
- (7)乳児家庭全戸訪問事業
- (8)養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

(9)地域子育て支援拠点事業

- (10)一時預かり事業
- (11)病児保育事業
- (12)子育て援助活動支援事業
- (13)妊婦健康診査

利用者支援事業実施要綱 3.事業の内容

「子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育・保健その他の子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業」

地域子育て支援拠点事業実施要綱 3.事業の内容

「乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業」

多摩市利用者支援事業実施要綱 利用者支援事業実施基準

多摩市地域子育て支援拠点事業実施要綱 地域子育て支援拠点事業実施基準

- (1)子育てひろば《常設》
- (2) 地域関連情報の提供
- (3) 子育て講習会《月1回以上》
- (4) 近隣拠点施設及び関係機関との相互連携
- (5) 出張ひろば《週1回》
- (6) 子育て関連事業等の情報集約・提供等
 - ア 『わくわく通信』の発行《隔月》
 - イ 教育・保育施設及び子育て支援・関連事業等の情報収集と提供
- (7) 子育て関連事業等に関する相談・利用支援
- (8) 子育て関連事業等との連携
 - ア 地域の子育て関連施設との『ネットワーク会議』の開催《年3回》
 - イ 「妊娠届出書」の受け付け及び「母子健康手帳」「母と子の保健バッグ」交付

「地域子育て支援拠点施設」としての事業

多摩市では「かがやけ！多摩市子ども・子育て・わくわくプラン（多摩市子ども・子育て支援事業計画）」及び国の「子ども・子育て支援新制度」が始まったことに伴い、平成27年5月より一ノ宮児童館・永山児童館・唐木田児童館を含む市内の5施設を「地域子育て支援拠点施設」に位置付け、妊娠期から18歳まで切れ目のない子育て支援を行う身近な拠点としました。平成28年5月からは、諏訪児童館・落合児童館が、平成31年4月から連光寺児童館が「地域子育て支援拠点」となりました。また、平成30年度に桜ヶ丘児童館が一ノ宮児童館の連携館となり、同年5月から「地域子育て支援拠点事業（連携型）」を実施しています。

（1）地域子育て支援拠点事業

地域子育て支援拠点事業は、地域の身近な場所にある公共施設等において、子育て親子が交流、育児相談等を行うことができる事業を実施することにより、子育て親子を地域で支える仕組みを構築し、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会を実現することを目的としている事業です。多摩市では、地域子育て支援拠点実施施設に親子で気軽に集える常設の「子育てひろば」を開設し、「子育て講座」「出張ひろば」等も実施しています。

ア. 子育てひろば（常設）

乳幼児の親子が気軽に交流できる場として、ゆっくり過ごすことができるひろばを常設しています。令和2年度より新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒作業の時間を設けています。そのため開設時間のうち12：00～13：30は閉館しています。また、段階的な開館時間の変更に伴い、従来の開設時間とは異なります。

a. 一般型

ひろば名称	児童館名	利用時間（※）	開設日数
ぴーなっつひろば	一ノ宮児童館	月～金 9:00から17:00	242日
ぼよぼよひろば	永山児童館	月～金 9:00から16:30	242日
こすもすひろば	連光寺児童館	火～土10:00から16:00	243日
おひさまひろば	諏訪児童館	月～金 9:00から17:00	242日
ひろばとむ☆とむ	落合児童館	月～金10:00から17:00	237日
フェアリーひろば	唐木田児童館	月～金 9:00から17:00 月曜休館時は火～土9：00から17：00	243日

b. 連携型

ひろば名称	児童館名	利用時間（※）	開設日数
ひろばちえりちえり	桜ヶ丘児童館	火～木10:00から16:30	147日

（※）12：00～13：30は消毒作業のため除く。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常の開設状況と異なります。

連光寺児童館は令和3年7月から、落合児童館は令和3年8月から大規模改修のため変更になりました。

イ. 出張ひろば

近くに地域子育て支援拠点がいない地域で、公共施設等をはじめ、利用者の皆さんが立ち寄りやすい場所で「出張ひろば」を実施しています。

※現在、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休止しています。

ひろば利用実績（令和3年度）

	子育てひろば		出張ひろば（※）		単位：人のべ利用人数
	幼児	大人	幼児	大人	
一ノ宮児童館	8,059	6,088	/		14,147
永山児童館	4,502	3,889			8,391
諏訪児童館	4,911	4,231			9,142
落合児童館	3,619	3,128			6,747
唐木田児童館	4,808	4,382			9,190
桜ヶ丘児童館 （連携館）	2,012	1,720			3,732
連光寺児童館	2,123	1,664			3,787
合計	30,034	25,102			55,136



ひろばの様子（唐木田児童館）

※通常の開設場所・時間帯での実施はなし。

ウ. 子育て講座

乳幼児の保護者が子育ての不安を解消したり、リフレッシュしたりする機会として月1回以上「子育て講座」を実施しています。以下は講座の様子の一例です。その他の取り組みは、「2. 各館の事業内容」を参照してください。



親子フィットネス（諏訪児童館）



ヘクセンハウス作りと絵本を楽しもう！（桜ヶ丘児童館）



フラワーアレンジメント（連光寺児童館）



乳幼児のための救急救命講座（永山児童館）

工. 乳幼児のための救急救命講座

乳幼児の保護者を対象に、乳幼児期に起こりうる怪我等に対する救急救命や予防法等について学ぶ機会を提供しました。対象を乳児と幼児に分けて実施し、幼児対象の講座については多摩市教育委員会の「家庭教育講座」として開催しました。

講師：国土館大学 防災・救急救助総合研究所

乳児対象

児童館名	開設場所	開設日時	参加人数(人)
一ノ宮児童館	健康センター 多目的室	6月21日 月曜日 14:00~15:00	大人11
連光寺児童館 桜ヶ丘児童館	ゆう桜ヶ丘 ホール	10月19日 火曜日 11:00~12:00	大人13
永山児童館 諏訪児童館	永山児童館	6月29日 火曜日 10:30~11:30	大人12
落合児童館 唐木田児童館	からきだ菖蒲館 (ホール・会議室・和室)	11月16日 火曜日 10:30~11:30	大人12

乳幼児対象(教育委員会「家庭教育講座」※父親対象)

児童館名	開設場所	開設日時	参加人数(人)
一ノ宮児童館 連光寺児童館 桜ヶ丘児童館	健康センター 会議室	2月19日 土曜日 10:30~12:00	大人 16
永山児童館 諏訪児童館	永山児童館	2月19日 土曜日 14:00~15:30	大人 10
落合児童館 唐木田児童館	からきだ菖蒲館 (ホール・会議室・和室)	3月19日 土曜日 10:30~12:00	大人 12

(2) 利用者支援事業

利用者支援事業は、地域の身近な場所にある公共施設等において、子育て中の親子及び妊娠中の方が地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるように必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会が実現することを目的としています。多摩市では、「地域子育て支援拠点施設」に配置された専任の子育てマネージャーが、利用者の子育て等の相談に応じ、各種情報の提供を行うとともに、地域の関連団体との連絡調整及び情報交換等を行っています。また、各施設の担当地域の子育て関連事業等の情報を集約した情報誌「わくわく通信」を隔月で発行しています。

ア. 子育てに関する相談・利用者支援

a. 一般型

児童館名	相談件数
一ノ宮児童館	279
永山児童館	107
連光寺児童館	37
諏訪児童館	147
落合児童館	86
唐木田児童館	86

b. 連携型

児童館名	相談件数
桜ヶ丘児童館	72

イ. 地域子育て関連施設・団体との連携ネットワーク会議

地域の実態にあった子育て支援を展開することを目的に、実施施設周辺で活動している子育て関連団体（幼稚園、保育所、子ども家庭支援センター、健康センター、児童委員、医療機関、子育て支援団体等）との顔の見える関係を作り、情報提供や意見交換を実施しています。

児童館名	実施日	参加団体数（のべ）
一ノ宮児童館	7月5日(月)、11月15日(月)、2月7日(月)、3月7日(月)	43団体
永山児童館	7月9日(金)、11月29日(月)、2月21日(月)	16団体
連光寺児童館	6月15日(火)、11月10日(水)	15団体
諏訪児童館	7月7日(水)、12月8日(水)、3月9日(水)	27団体
落合児童館	6月30日(水)、12月8日(水)、3月16日(水)	23団体
唐木田児童館	6月1日(火)、11月9日(火)、3月1日(火)	20団体

ウ. 健康センター パパママ学級

平成31年4月より実施。パパママ学級最終日（水曜日15時）に赴き、妊娠期にマネージャーと顔を合わせる機会を設けることで、出産後の拠点利用に繋げています。

実施日	参加者数	担当児童館
4月14日(水)	ママ11人 パパ 5人	諏訪・唐木田
5月26日(水)	ママ 9人 パパ 3人	落合・連光寺
6月16日(水)	ママ 8人 パパ 4人	一ノ宮・永山・桜ヶ丘
7月14日(水)	ママ10人 パパ 5人	諏訪・唐木田
9月15日(水)	ママ11人 パパ 8人	落合・連光寺
10月20日(水)	ママ11人 パパ 4人	永山・諏訪・桜ヶ丘
11月17日(水)	ママ13人 パパ12人	一ノ宮・唐木田
12月15日(水)	ママ11人 パパ 3人	落合・連光寺
2月16日(水)	ママ12人 パパ 9人 祖母 1人	一ノ宮・永山・桜ヶ丘
3月16日(水)	ママ14人 パパ 9人	諏訪・連光寺

健康センター 3～4か月児健診

※令和3年度実績：対象者数 733人／ 受診者数 706人／受診率 96.3%

『多摩市子育て世代包括支援センター事業』において、地域子育て支援拠点との連携による相談支援体制の推進を目的に乳児健診（3～4か月児健診）に子育てマネージャーが出向き、地域子育て支援拠点の紹介を行っています。令和3年7月より月2回実施。

実施日		担当児童館
7月	6日(火)	一ノ宮・永山
	20日(火)	桜ヶ丘・多摩保育園
8月	3日(火)	諏訪・唐木田
	17日(火)	一ノ宮・永山
9月	7日(火)	桜ヶ丘・多摩保育園
	21日(火)	連光寺・落合
10月	12日(火)	連光寺・落合
	26日(火)	諏訪・唐木田
11月	9日(火)	落合・連光寺
	30日(火)	一ノ宮・永山
12月	7日(火)	桜ヶ丘・唐木田
	21日(火)	諏訪・多摩保育園
1月	11日(火)	一ノ宮・永山
	25日(火)	連光寺・落合
2月	8日(火)	諏訪・唐木田
	22日(火)	連光寺・落合
3月	8日(火)	桜ヶ丘・多摩保育園
	22日(火)	一ノ宮・永山

エ.その他

児童館名	名称	実施場所	実施日数	のべ人数(人)
一ノ宮児童館	関戸みどりの保育園 つどい・わらべうた	一ノ宮児童館 (一ノ宮1-18-7)	3日	幼児 23 大人 24
諏訪児童館	あすのき保育園 身長・体重測定	諏訪児童館 (諏訪2-8)	11日	幼児 102 大人 100
唐木田児童館	地域活動センターあんど 言葉と聞こえの相談	唐木田児童館 (鶴牧6-14)	8日	幼児 72 大人 68

オ. 地域子育て支援拠点だより「わくわく通信」の発行(隔月・偶数月の1日発行)

児童館名	タイトル	発行部数
一ノ宮児童館	「わくわく通信」聖蹟桜ヶ丘地域版	約3,000部
永山児童館	「わくわく通信」永山地域版	約3,000部
連光寺児童館	「わくわく通信」連光寺地域版	約2,000部
諏訪児童館	「わくわく通信」諏訪地域版	約2,800部
落合児童館	「わくわく通信」落合地域版	約2,000部
唐木田児童館	「わくわく通信」唐木田地域版	約4,800部

4. 各館の共通事業 その他の取り組み

(1) YouTube 配信

全館

児童館休館期間中の令和2年4月から、多摩市公式チャンネルにおいてYouTube動画配信を開始しました。児童館の子育てひろばで行っている体操や家の中でできる工作、親子で楽しむクッキングなど各館が工夫を凝らして配信しています。コロナ禍での外出自粛を受けてはじまった取り組みですが見てくれた方の「楽しかった」「元気づけられた」という声を受け開館後も配信をつづけ全館で98本の動画が配信されています。中には「各児童館への行き方動画」もあり新規の利用者拡大にもつながっています。



あやとりであそぼう第5弾～ひものひっこし～
東寺方児童館



永山児童館の行き方①～最短 Ver.～
永山児童館



多摩市立児童館・地域子育て支援拠点のご紹介
拠点児童館



多摩市公式チャンネル
二次元コード

(2) 中高生重点対応館

一ノ宮児童館

永山児童館

唐木田児童館

平成23年4月から一ノ宮児童館、唐木田児童館を、平成26年4月には永山児童館を「中高生重点対応館」とし、午後7時まで開館時間を延長しています。午後6時から午後7時までは中高生専用時間帯として開館し、ダンスや楽器、ダーツ、ビリヤードなど中高生が楽しめる遊びの他、ゆったりとおしゃべりを楽しめる場所の提供を行っています。開館時間の延長によって中高生の来館を促進し切れ目のない支援に結びつけています。

児童館名	中高生対応時間来館人数(年間)
一ノ宮児童館	643人
永山児童館	905人
唐木田児童館	848人

(3) 日曜開館

一ノ宮児童館

永山児童館

唐木田児童館

地域の子育て・子育て支援の充実、中高生の居場所の拡大を図るために、中高生重点対応館では、平成28年4月1日より日曜開館をおこなっています。

日曜開館日及び開館時間

◆一ノ宮・永山児童館 第2・第4日曜日開館 午前10時～午後5時

◆唐木田児童館 第1～第4日曜日開館（第5日曜日は休館日） 午前10時～午後5時

児童館名	開館日数 (年間)	来館人数				合計
		幼児	小学生	中・高生	大人	
一ノ宮児童館	24	243	618	117	326	1304人
	平均来館人数	10.1	25.8	4.9	13.6	54.3人
永山児童館	24	227	306	221	259	1013人
	平均来館人数	9.5	12.8	9.2	10.8	42.2人
唐木田児童館	47	952	1132	244	1149	3477人
	平均来館人数	20.3	24.1	5.2	24.4	74.0人

(4) 児童館直接来館制度

全館

児童館は原則として下校後いったん帰宅してから利用する施設ですが、小学生で自宅が遠いため一旦家に帰ると来館が困難な場合、もしくは保護者会や通院等の理由で保護者をご不在の場合や児童館事業へ参加する場合など理由によって学校から直接来館をすることができるようになりました。

令和3年度児童館直接来館制度利用実績 ※連光寺児童館、落合児童館は移転のため7月までの実績

児童館名	申込み人数	延べ利用人数
一ノ宮児童館	21人	228人
永山児童館	20人	51人
愛宕児童館	20人	43人
連光寺児童館	14人	40人
豊ヶ丘児童館	10人	29人
東寺方児童館	12人	150人
諏訪児童館	30人	174人
桜ヶ丘児童館	4人	4人
落合児童館	23人	77人
唐木田児童館	30人	191人

(5) 健全育成環境の醸成事業

全館

※件数は資料ページ

ア. 地域団体との連携

児童館は、子ども達が安心して地域で成長できる様、青少年問題協議会や子ども会など、地域の子ども関連の団体や民生・児童委員と日常的に連携を深めており、定例会や各種会議にも出席して情報の交換及び課題の共有を行っています。

イ. 施設/備品貸出事業

児童館は、子どもの健全育成に関わる団体及びグループに対し、「活動支援」や「関係作り」「所有備品の有効活用」などの観点から事業に支障のない範囲で以下のような支援を行っています。

- ・「打合せ」や「自主的な活動」の場として、施設の一部を提供。
- ・「イベント」等の実施ノウハウや情報の提供。

※備品は、その性質により一般貸出しが可能な「一般用」と、庁内のみで貸出す「公用」に分類しています。

(6) 各課との連携

全館

児童館では多摩市役所各課との連携事業を多数行っています。環境、食に関することの他、市を盛り上げるための取り組みが随時行われています。ここでは、令和3年度の取り組みのうち主だったものを紹介いたします。

※その他、各館ごとの連携はそれぞれの行事実績一覧表に記載されています。

ア. 東京2020パラリンピック聖火 多摩市の火 採火式(連携:オリンピック・パラリンピック推進室)

舞切り式で起こした火を参加者全員のろうそくでリレーし「多摩市の火」を作りました。多摩市の火は都内各市町村の火と一つになりその後、パラリンピック競技大会の原点であるイギリスのストーク・マンデビルで採火した火と46都道府県の火と合わせり8月20日に国立競技場のパラリンピック聖火になりました。

舞切り式火おこしは児童館職員の指導のもと児童館を通して希望した子が行いました。ろうそくは各児童館で手作りし当日も多くの子がそのろうそくを使ってろうそくりレーを行いました。パラリンピックという祭典に主体的に関わり貴重な経験ができた機会でした。

イ. 多摩市市制50周年記念タイムカプセル事業(連携:企画課)

市制50周年事業として永山北公園にタイムカプセルを埋めました。全館で524人の応募があり、それぞれ一生懸命に作った物や思い出の品を30年後に向けてタイムカプセルに入れました。

また、当日は40年前に埋めたタイムカプセルの掘り返しも行いました。40年前にタイムカプセルの中身を制作したのも当時からある6つの児童館でした。当時の利用者も集まり思い出話に花を咲かす良い機会になりました。



ウ. 出張教育・子育て世代包括支援センター事業(連携:健康推進課)

健康センター(健康推進課)とは常時連携をしています。連携の内容としては、育児不安を抱える家庭や虐待の問題等を日常的に連絡を取り合って解決に当たっています。また、妊婦の時期から児童館との関わりが持てるように「パパママ学級」で0歳児のつどいへの見学を呼びかけるチラシを配布しています。

特に出張教育については全児童館で取り組んでおり、健康センターの保健師、歯科衛生士、栄養士による講座が実施されています。令和2年度からは子育て世代包括支援センター事業の一環として、アドバイス☆DAY～ラウンド保健師～も開始し、身近な場で保健師の育児相談ができるようにしています。地域子育て支援拠点では「発達相談」として、島田療育センターから心理相談員や作業療法士といった専門職が出張し、子どもの発達について講話や相談も行っています。

